

モンドリアンの絵

酒井恵三

私は彼の絵に音楽を感じ

そして半導体の無機質を思う

そこに幾何学の定理を思う

私は彼の絵の行間に

ニューヨークの雑踏を感じる

信号が変わる度

行き交う車、行き交う人々

林立する摩天楼

ニューヨークは繁栄を謳歌している

やがて日は落ち

夜景がこの町を彩る

都市の明かり

ビルの窓の一つ一つが

万華鏡のように

スパンコールのように輝く

彼の絵からは

ジャズの響きが聞こえる

そして夜は更けて行く——

モンドリアンの絵

明かりの一つ一つが魂を
持つてゐるかのように輝いてゐる
モンドリアンの絵の持つ
明晰な色彩
それは昼をも夜をも
見事に体現してゐる